

国際教養大学新管理棟基本計画等策定業務受託候補者選定評価票

【 提案者 ： A社 】

審査委員：

評価項目	評価内容		評価基準	評価及び評価点数				
				極めて良好	良好	普通	やや不十分	不十分
業務実績	同種業務の実績	平成26年度以降、大学施設、国・地方自治体の施設整備の基本計画の策定業務の受託実績について、規模、件数、内容等から総合的に判断 【様式1-3】	同種業務の受託件数、業務内容、委託料等から、十分な実績を有しているか。	5	4	3	2	1
	代表的な同種業務実績	平成26年度以降、大学施設、国・地方自治体の施設整備の基本計画の策定業務の受託実績について、内容、計画コンセプト、施設規模、本件との類似性、アピールポイント等から総合的に判断 【様式1-4、基本計画】	提出された他県での事業実績(基本計画)の内容から、十分な能力を有していると判断されるか。	10	8	6	4	2
	小 計			点／15点				
配置技術者	管理技術者	技術者の資格、経験年数、業務実績等から総合的に判断 【様式1-5】	担当する管理技術者の経験、資格、主な業務実績から当該業務を担当するに十分な能力を持っていると判断されるか。	5	4	3	2	1
	担当技術者	技術者の資格、経験年数、業務実績等から総合的に判断 【様式1-5】	担当する担当技術者の経験、資格、主な業務実績から当該業務を担当するに十分な能力を持っていると判断されるか。	5	4	3	2	1
	小 計			点／10点				
参考見積金額	見積金額と提案内容の整合性(金額の多寡ではなく、提案内容が金額と見合っているか) 【様式4-1, 4-2】		見積金額は企画提案内容に見合ったものになっているか。(予算上限額:22, 000千円)	5	4	3	2	1
	小 計			点／5点				

国際教養大学新管理棟基本計画等策定業務受託候補者選定評価票

【 提案者 ： A社 】

審査委員：

評価項目	評価内容			評価基準	評価及び評価点数				
					極めて良好	良好	普通	やや不十分	不十分
企画提案書	提案1	整備構想において想定した施設規模から、再設定(延床面積6,645㎡から約5,500㎡に縮小)となる施設規模において、各諸室と面積の見直しを行う上で、再設定後の施設規模に適応するための有効な整備方策【様式3】	的確性	再設定した施設規模内の各諸室等の見直しを行う上での有効な整備方策について、本学に相応しい内容となっているか(的確性)、整備が可能な現実的な提案となっているか(実現性)、他県には例が無いような独創的なアイデアであり、基本計画に盛り込むべき優れた提案内容となっているか(独創性)の3つの観点で評価する。	5	4	3	2	1
			実現性		5	4	3	2	1
			独創性		5	4	3	2	1
	小 計				点／15点				
	提案2	提案1の条件のもと、学生・教職員のみならず利用者全体が利用しやすく、コミュニティ全体の交流活性化が期待できる空間として有効な整備方策【様式3】	的確性	事務局及び研究室集約における機能向上の方策について、本学に相応しい内容となっているか(的確性)、整備が可能な現実的な提案となっているか(実現性)、他県には例が無いような独創的なアイデアであり、基本計画に盛り込むべき優れた提案内容となっているか(独創性)の3つの観点で評価する。	5	4	3	2	1
			実現性		5	4	3	2	1
			独創性		5	4	3	2	1
	小 計				点／15点				
	提案3	新管理棟におけるZEB化(ZEB Ready相当以上)に向けて考えうる整備手法【様式3】	的確性	ZEB化の方策について、本学に相応しい内容となっているか(的確性)、整備が可能な現実的な提案となっているか(実現性)、他県には例が無いような独創的なアイデアであり、基本計画に盛り込むべき優れた提案内容となっているか(独創性)の3つの観点で評価する。	5	4	3	2	1
			実現性		5	4	3	2	1
			独創性		5	4	3	2	1
	小 計				点／15点				

国際教養大学新管理棟基本計画等策定業務受託候補者選定評価票

【 提案者 ： A社 】

審査委員：

評価項目	評価内容			評価基準	評価及び評価点数				
					極めて良好	良好	普通	やや不十分	不十分
企画提案書	提案4	その他自由提案【様式3】	的確性	上記3つの提案のほか、大学にとってより良い施設にするための自由な提案として、本学に相応しい内容となっているか(的確性)、整備が可能な現実的な提案となっているか(実現性)、他県には例が無いような独創的なアイデアであり、基本計画に盛り込むべき優れた提案内容となっているか(独創性)の3つの観点で評価する。	5	4	3	2	1
					5	4	3	2	1
					5	4	3	2	1
	小計			点／15点					
理解度	本業務を進めるにあたっての考え方、配慮すべき事項のほか、関係書類、プレゼンテーション・ヒアリング全体をとおして、整備構想等の理解度を総合的に判断【様式2-2】			企画提案内容が、全体として整備構想や本学の特性を十分に踏まえた内容となっているか。	10	8	6	4	2
	小計			点／10点					
合計					点／100点				

【企画提案書作成要領より】

提案は4テーマでA4判合計10枚以内とし、テーマ毎に別葉にしてください。提案内容は、「公立大学法人国際教養大学施設整備構想(2023年7月策定)」(以下、「整備構想」という。)を読み込んだうえで、大学の基本的な考え方をどのように基本計画へ展開しているのかはしっかりとわかるように記載する必要があります。その際には、基本計画の考えを正確に捉えているのかという「的確性」、提案内容の「実現性」、大学が考えている以上の提案となっているのかという「独創性」の観点から評価することになります。